

休日当番医など (8月1日～9月15日)

地域医療課 ☎27-8572

休日 当番医

※症状によっては、専門外となる場合もありますので、不明な場合は、当番医療機関へお問い合わせください。

日	当番医	住所	電話番号
8月7日(日)	山口医院	平作町	24-1811
	クリニック阿部	泉町	85-5801
	櫛田病院	植田町	63-3202
	さかもと内科胃腸科クリニック	常磐関船町	72-2022
11日(木)	まつはし内科クリニック	平上荒川	68-8031
	磐城中央病院	小名浜南富岡	53-3511
	花田内科クリニック	錦町	62-5000
	常磐病院	常磐上湯長谷町	81-5522
14日(日)	中村病院	小名浜大原	53-3141
	なこそ病院	勿来町	65-7755
	いわき湯本病院	常磐湯本町	42-3188
21日(日)	山口医院	平作町	24-1811
	かしま病院	鹿島町下蔵持	58-8010
	こうじま慈愛病院	錦町	63-5141
	吉成内科	常磐上湯長谷町	42-2220
28日(日)	中央台たなか眼科	中央台高久	29-1722
	なおハートクリニック	小名浜定西	54-1262
	呉羽総合病院	錦町	63-2181
	渡辺産科婦人科	常磐関船町	42-4567
9月4日(日)	山口医院	平作町	24-1811
	小名浜生協病院	小名浜岡小名	53-4374
	呉羽総合病院	錦町	63-2181
	常磐腎ひ尿器クリニック	常磐下船尾町	43-1200
11日(日)	おちあい内科消化器科クリニック	小名浜岡小名	73-1171
	こうじま慈愛病院	錦町	63-5141
	いわき湯本病院	常磐湯本町	42-3188

日曜 小児専門当番医 9時～12時

日	当番医	住所	電話番号
8月	7日 福田小児科医院	平下荒川	22-4272
	21日 あおぞらキッズクリニック	小名浜大原	85-5439
	28日 相原小児科医院	内郷御殿町	26-5551
9月	4日 おおはらこどもクリニック	東田町	63-0001
	11日 森のこどもクリニック	植田町	38-7227

※この他にも休日に診療している医療機関がありますので、あらかじめかかりつけの医療機関などで確かめてください。診療の受け付けは、診療終了時間の30分前までとなります。

県子ども救急 ☎024-521-3790または #8000 (プッシュ回線・携帯電話) 毎日 19時～翌朝8時

県夜間救急 ☎024-524-3020または #7799 (プッシュ回線・携帯電話) 毎日 19時～翌朝8時

※変更となる場合がありますので、事前に当番医療機関または消防テレホンガイド(☎23-0119)へお問い合わせください。市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

休日 診療協力医 ※休日当番医の場合は、左表に記載しています。

【内科】
須田医院 (小島町) ☎27-6060
8月28日 9月11日

ニュータウン腎・内科クリニック (中央台高久) ☎46-0606
9月9日～12日

8月15日

【皮膚科】
金生皮膚科医院 (平三倉) ☎22-2378
13時30分～17時15分
8月11日

8月11日

【泌尿器科】
常磐病院 (常磐上湯長谷町) ☎81-5522
9月9日～15日

8月7日、13日・14日・15日、21日、28日
9月4日、11日

【婦人科】
月川レディースクリニック (平童子町) ☎35-3511
9月9日～12時30分

8月7日、21日 9月4日

いわき婦人科 (内郷綴町) ☎27-2885
9月9日～12時

8月15日

【眼科】
中央台たなか眼科 (中央台高久) ☎29-1722
9月9日～14時

8月7日、21日 9月4日、11日

西山眼科医院 (四倉町) ☎32-3722
8月8日30分～12時

8月13日

休日夜間急病診療所【内科・小児科】

総合保健福祉センター隣 ☎27-1208
平日：20時～23時 土曜日：19時～23時
日曜日：14時～18時、19時～23時
祝日、8月13日・14日・15日：9時～13時、14時～18時、19時～23時

※患者・医療従事者間における新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、同感染症・インフルエンザの検査は実施していません。

休日救急歯科診療所

総合保健福祉センター内 ☎27-8620
日曜日、祝日、8月13日・14日・15日：9時～12時、13時～16時 (受付終了時間15時30分)

●かかりつけ医を持ちまじょう

●「ハニ」相談センター

●救急車は適正に利用しまじょう

かかりつけ医の紹介・相談やこれまでの掲載内容は、医師会事務局へ(ホームページURL <https://www.iwaki.or.jp>)

市民の

健康教室



提供・問い合わせ
一社いわき市医師会 ☎38-4201

習慣的飲酒と病気



紀元前4千年頃に人類はお酒(果実酒のワイン)と出会い、蒸留酒は11世紀に、医療用アルコールとして医師によって造られたのが最初と言われています。人とアルコールは、6千年を超える長いつきあいです。

手術を終え、退院前に術後の生活についてお話ししようとする、「お酒はいつから飲めますか?」と聞かれることが度々あります。そこで、習慣的飲酒と健康被害についてお話しします。

アルコールの直接刺激によって起こる病気には咽喉頭部を含めた上部消化管のガンがあります。かつて食道がんは「酒×煙草×辛い物」で起きると言われてきました。が、今は習慣的飲酒が原因とされています。特に飲酒で顔が赤らむ人は、発がん性のあるアルコールの代謝産物のアセトアルデヒドの分解酵素活性が低く、要注意です。

飲んだアルコールの大部分は肝臓で代謝されますが、「沈黙の臓器」肝臓も、やがては疲れ果てて硬くなり(肝硬変)、肝がんの発生源にもなります。抗がん剤治療中の飲酒は、抗がん剤の代謝がアルコール代謝よりも後回しになるため、抗がん剤の体内濃度が高まり副作用が出やすくなります。膵臓にもアルコールによる微小循環障害が起こるとされ、やがては慢性膵炎へと進み、糖尿病を誘発します。バランスの取れた食事をせずに習慣的に飲酒すると、ビタミンB1が不足して脳症を発症することもあり、人生を台無しにしてしまいます。

お酒にはストレス発散と、血行や食欲増進効果もあると言われていて、習慣的飲酒を止め、身体を壊さないように上手につきあひ、豊かな人生の糧としたいものです。

泌尿器科医療録⑤

けんこうQ&A

脳神経外科⑤

尿路結石症
尿路結石症とは、尿路(腎臓、尿管、膀胱、尿道)に結石が存在する病気のことで、腎結石は症状がなく、尿管結石では、側腹部から下腹部にかけての激痛と血尿が典型的な症状です。膀胱結石では頻尿の原因になり、尿道結石では尿閉(尿が出なくなる)の原因になる場合があります。

5ミリメートル以下の結石については、水分を多めに摂取して尿量を増加させたり、運動によって結石の排出を待ちます。大きな結石に対し

では、体外衝撃波碎石術といわれる衝撃波を結石に照射し破碎する方法や、経尿道的尿管碎石術といわれる尿管鏡を挿入し、レーザーで破碎する方法、経皮的腎砕石術といわれる直接腎臓へ内視鏡を挿入し破碎する方法などがとられます。

結石の予防に簡単で有効な方法は、水分摂取を多くして尿を薄くすることです。結石の成分によっては、食事療法が有効な場合があります。尿管結石を放置すると腎機能が悪くなる場合もありますので、必ず泌尿器科で治療を受けるようにしましょう。

突然の頭痛「くも膜下出血」
Q どんな病気ですか?
A 脳を覆っているくも膜という薄い膜と脳の間(くも膜下腔)は、脳脊髄液で満たされています。このくも膜下腔で、脳動脈瘤が破裂して出血するのがくも膜下出血です。

Q どんな症状ですか?
A 動脈から出血するので、くも膜下腔に血がひろがり、突然経験したことがない、激しい頭痛がおこります。

Q どうしたらいいですか?
A 出血は一旦止まるのですが、再出血しないように安静にして、救急

車を呼び、脳神経外科治療のできる病院に搬送してもらってください。

Q 治療はどうするのですか?
A 破裂した脳動脈瘤を、手術(クリップで閉じる)またはカテーテル(コイルを詰める)で、再出血しないよう治療します。それでも、出血による脳のダメージなどのため、後遺症が残ったり死亡することもあります。

Q 予防はできますか?
A 脳ドックを受診するなど、脳動脈瘤を破裂前に見つけることが重要です。次号では、脳ドックについてお話しします。